

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月3日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	2019年	2, 3 4 8	5 5	
		2020年	1, 6 4 8	5 5	
		2021年	2, 1 9 8	6 0	
		2022年	2, 0 3 8	6 7	
		2023年	1, 8 3 6	7 1	
	5カ年平均		2, 0 1 4	6 1	
2024年見通し		1, 8 5 0	6 5		
概要		愛知、沖縄、三重から入荷。上旬は入荷量少なく推移し、強い相場の見込み。中旬以降は入荷量も増えてくるが、年末需要に向けて価格安定し、動きも良い見込み。			
小 ぎ	実 績	2019年	2, 0 7 9	3 3	
		2020年	1, 7 2 6	3 1	
		2021年	1, 9 5 8	3 2	
		2022年	1, 6 3 8	3 8	
		2023年	1, 9 5 8	3 2	
	5カ年平均		1, 8 7 2	3 3	
2024年見通し		1, 7 0 0	4 0		
概要		沖縄中心の入荷。夏場の暑さの影響を受け、生育が良くない状況であるが、中旬以降は予約相対も始まり、入荷量は伸びてくる見込み。ピークは23～25日販売が見込まれる。			
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	2019年	1, 4 2 7	4 0	
		2020年	9 7 6	3 5	
		2021年	1, 3 1 7	4 8	
		2022年	1, 1 3 1	5 0	
		2023年	1, 1 7 5	5 0	
	5カ年平均		1, 2 0 5	4 5	
2024年見通し		1, 1 5 0	5 0		
概要		愛知、輸入が中心。朝夕の冷え込みにより、暖地の軟弱さが少しずつ解消され、しまった物が出てくる。大きな波はなく、平年よりわずかに少ない入荷となる見込み。			
か す み	実 績	2019年	1 7 0	8 9	
		2020年	1 3 1	7 0	
		2021年	1 9 1	9 2	
		2022年	1 6 8	9 4	
		2023年	1 6 6	1 1 0	
	5カ年平均		1 6 5	9 2	
2024年見通し		1 6 0	1 1 0		
概要		和歌山、高知、熊本から入荷。定植後の気温高から短径開花となっており、枝のカスミソウの入荷は多くなさそう。年末は極端に減少することなく推移する見込み。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2019年	346	193	
		2020年	229	189	
		2021年	308	226	
		2022年	280	233	
		2023年	295	230	
	5カ年平均		292	215	
	2024年見通し		280	230	
概要	高知、宮崎、埼玉、新潟、鹿児島からの入荷。オリエンタルは10,11月の気温高により前進気味の出荷となっている。今後の冷え込みにもよるが、年末需要期より早めにピークを迎える可能性がある。				
洋らん	実績	2019年	546	105	
		2020年	301	106	
		2021年	422	144	
		2022年	359	149	
		2023年	395	150	
	5カ年平均		405	130	
	2024年見通し		400	150	
概要	高知、鹿児島、静岡、愛知の国内産、輸入品が入荷。コショウランは年末に向け、輸入、国産ともに増加。カトレアは大きな山なく、平年並。デンファレは前年より入荷は増加、下旬にかけ引き合いも強くなる。オンジウムは前年より減少気味に推移。シンビジウムは国産品が徐々に増加するが、高温が続いた影響で下位等級が多め。下旬にかけて全般に引き合いが強くなる。				
ばら	実績	2019年	595	94	
		2020年	497	87	
		2021年	674	108	
		2022年	607	107	
		2023年	759	89	
	5カ年平均		626	97	
	2024年見通し		650	90	
概要	愛知、岐阜、三重、輸入が入荷。平年よりやや多い入荷を見込むが、11月後半の冷え込みにより抑制がかかる可能性がある。クリスマスが週中(水曜)ということで消費動向が読みづらい。				
枝	実績	2019年	2,952	56	
		2020年	3,873	57	
		2021年	2,789	85	
		2022年	3,783	72	
		2023年	3,924	70	
	5カ年平均		3,464	67	
	2024年見通し		3,700	70	
概要	茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡及び長野から年末商材が入荷する。年末用の雪柳は昨年より順調な出荷となりそう。桜は平年通り。ボケの「舞姫」は順調だが、「あかね」は不調となっている。高温が続き休眠が不十分で、年末に開花が間に合うか懸念される。獣害で枝折れも多い。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	2019年	10,380	944	
		2020年	10,076	1,098	
		2021年	11,044	1,186	
		2022年	9,280	1,422	
		2023年	9,216	1,195	
	5ヵ年平均		9,999	1,164	
	2024年見通し		9,000	1,111	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少か。円安の影響は大きく、輸入原木高騰で作付が減少しており、大鉢(10号)が特に減少し、8号以下がメインとなる。5号、6号での生産は変わらない傾向となる見込み。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(73.6%)、2位鹿児島(6.7%)、3位沖縄(6.1%)となっている。</p>				
シヤコバサ	実績	2019年	12,271	443	
		2020年	8,436	469	
		2021年	10,193	485	
		2022年	10,000	480	
		2023年	10,208	508	
	5ヵ年平均		10,222	476	
	2024年見通し		9,800	510	
概要	<p>入荷量はやや減少か。高温で開花が早まっており、12月上旬の出荷分が11月末に前倒しとなる。5号中心の出荷になり、6号以上が品薄になる見込み。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(60.8%)、2位愛知(38.9%)、3位新潟(0.3%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	2019年	540,423	415	
		2020年	427,062	448	
		2021年	422,530	459	
		2022年	489,355	392	
		2023年	464,176	403	
	5ヵ年平均		468,709	422	
	2024年見通し		450,000	450	
概要	<p>入荷量は6号は減少、5号以下は前年並か。販売に関しては年々6号は厳しく、単価が下がってきているが、1、2入共に@2,500-1,800クラスの引き合いが強くなる見込み。5号は3、4入@1,300-1,200の良品、5入@800-600クラスの引き合いが強くなる。ガーデンシクラメンは12月に入ると良品が少なくなるので、早めの注文が必要。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(27.0%)、2位群馬(20.6%)、3位岐阜(9.8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	2019年	86,602	2,262	
		2020年	83,647	2,267	
		2021年	71,306	2,594	
		2022年	78,898	2,394	
		2023年	60,015	2,481	
	5カ年平均		76,094	2,387	
	2024年見通し		60,000	2,467	
概要	<p>入荷量は前年並か。夏の猛暑により良品が少なく、出荷できる商品が減っている。開花も遅れているので、12月上旬のギフト需要期に品薄感が出そう。しかし、開花が遅れている分、年末までは出荷は潤沢にある見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（63.3%）、2位三重（6.8%）、3位徳島（6.2%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	2019年	17,678	208	
		2020年	17,762	244	
		2021年	18,759	252	
		2022年	15,234	234	
		2023年	12,798	292	
	5カ年平均		16,446	244	
	2024年見通し		12,000	292	
概要	<p>入荷量はかなり減少か。高温障害の影響が若干残っており、減少の見込み。4号鉢を中心に中値安定で推移すると思われる。中旬以降は年末年始売りの需要が見込まれ、4号、6号の定番商品と各サイズの八重咲き種中心に品薄の見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜（56.1%）、2位埼玉（38.8%）、3位熊本（3.3%）となっている。</p>				
パンジー	実績	2019年	465,569	44	
		2020年	413,893	40	
		2021年	394,867	50	
		2022年	382,297	42	
		2023年	345,688	63	
	5カ年平均		400,463	47	
	2024年見通し		335,000	60	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。作付け減少、開花待ちや11月前倒し出荷傾向から良品商品不足が予想される。価格は平年並か高値傾向の見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（24.8%）、2位奈良（23.5%）、3位三重（11.3%）となっている。</p>				